

滋賀県立彦根西高等学校 同窓会・芹汀会の窓

このページは「西高」の足跡を辿り、今を語る、卒業生のための情報サイトです



『彦根西高校(彦根高等女学校)130周年に寄せて』

彦根西高等学校同窓会会長 藤田隆行

130年前、彦根西高校の前身、彦根高等女学校が彦根の芹川の汀に開校されました。明治初期の男性中心の社会の中で、全国7番目(諸説有)、県内では最初の女学校が設立されたことは、彦根を中心とする周辺地域の修学意識の高さの表れで、女性の社会進出の礎になりました。その後、彦根西高校に改名した後、商業科が分離して普通科と家政(家庭科学)科の時代を経て、商業科から総合学科となった彦根翔陽高校と再統合となり、彦根翔西館高校として生まれ変わる事となりました。彦根西高の名前が無くなるのは寂しい限りですが、今もまだ健在の女学校の卒業生の方も同じ想いだっただ事を考えると、それも時代の流れなのかも知れません。130年の間、彦根の地で高等教育を担い、親しまれてきた歴史は次の世代へと校名を変えて引き継がれるものと信じ、そして新たな彦根翔西館高校の益々の活躍を祈念します。

祝 創立130周年
1886(明治19)年～2017(平成29)年

彦根西高等学校校歌
松村富子 作詞
信時 潔 作曲

一、真音に澄める鳩の湖
朝さわやけくひかる風
沖に未来を想ひつつ
知と技ふかく究めむと
友垣かたく結ばれし
われら集へり彦根西
掲げよその名

二、白雪映ゆる伊吹嶺の
清らに仰ぐわかき眉宇
彼方に明日を希みつつ
世に立つ業を修めむと
睡びて今日もひたすらに
われら競へり彦根西
薫れよその名

三、さみどり深き金亀城
古きを伝ふ松積の
高処に春を求めつつ
新しき代に応へむと
人のまことを積みゆかむ
われら三歳の彦根西
永久にその名を

